

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） ① 地域の行事への参加、老人会との交流、小学生の職場体験やボランティアの受入れなど地域住民との交流は深い。 ② 認知症や介護保険制度についてなど、地域住民の参加を得て講習会を開催している。 ①②共通として『いどばた会』が機能している。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） ② 運営推進会議で出された意見や課題については、職員にも伝達・共有され、サービス向上に向けて活かされている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） ① 問題解決に向けて市担当課に直接出向いて情報交換を行うなど、連絡を密に取っている。 ② 代表者は名古屋市グループホーム協議会の役員であり、介護関係の講習会等に参画している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） ① 家族会は年2回開催されている。 ② 家族会や家族の訪問時に出された意見や要望については積極的に受けとめ、改善、対応できるよう職員間で話し合いをしている。 ③ 毎月利用者一人ひとりの生活状況を職員が記録したお便りを家族に送付している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ×
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域住民との交流が多く見られ、地域での事業所の位置づけは深くなっている。事業所が地域住民を対象に介護予防や介護保険制度などについての講習会『いどばた会』を開くなど、地域に向けて情報発信をしており、地域密着型サービスとしての役割の実践がなされている。
また、家族への情報発信も毎月の請求書送付時に、職員手作りの『お便り』が同封される等、きめ細かい配慮がある事業所である。

- 外部評価軽減要件
 - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
 - 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
 - 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
 - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。
- 外部評価軽減要件④における県の考え方について
外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。